

# Nursing Nowキャンペーンについて



## Nursing Now Campaignの概要

- **看護職への関心を深め、社会への貢献を最大にすることが目的。**
- 2020年のナイチンゲール生誕200年記念の一環として実施。
- 英国グローバルヘルスに関する議員連盟が提唱し始まった2018年～2020年の3か年のキャンペーン。
- 英国のレポートで、社会の中で看護師は、人々の健康、ジェンダー平等、そして経済発展に貢献すると報告されている。
- 世界保健機関（WHO）、国際看護師協会（ICN）などが連携。
- 現在100カ国以上の国が参加。



## 日本のNursing Now キャンペーンの概要

- 2019年5月11日、Nursing Nowキャンペーン実行委員会（Nursing Now Campaign in Japan : NNCJ）が発足（厚労省：オブザーバー）
- 期間は2019年5月11日～2020年12月31日
- 日看協web特設サイトで活動を国内外へ情報発信
- **2020年予定：「Nursing Nowフォーラム・イン・ジャパン」（2020年5月8日・9日）開催。「看護の日」30周年記念イベント等。**



【参加団体：30】日本看護協会・日本看護連盟（Nursing Nowローカルグループ）、日本助産師会、全国保健師長会、日本精神科看護協会、日本看護学校協議会、日本訪問看護財団、全国訪問看護事業協会、日本看護系大学協議会、日本私立看護系大学協会、全国保健師教育機関協議会、全国助産師教育協議会、認定看護管理者会、看護系学会等社会保険連合、笹川保健財団、木村看護教育振興財団、WHOプライマリーヘルスケア看護開発協力センター／聖路加国際大学、災害健康危機管理WHO協力センター／兵庫県立大学地域ケア開発研究所、国立国際医療研究センター、日本赤十字社医療事業推進本部看護部、労働者健康安全機構、国立大学病院看護部長会議、社会福祉法人 恩賜財団済生会、日本私立医科大学協会病院部会看護部長会、地域医療機能推進機構、全国国立病院看護部長協議会、全国自治体病院協議会看護部会、国家公務員共済組合連合会、日本産業保健師会、日本看護系学会協議会

【後援団体：13】日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会、日本精神科病院協会、全国自治体病院協議会、全国老人保健施設協会、全国老人福祉施設協議会、全国社会福祉協議会、日本労働組合総連合会、ささえあい医療人権センターCOML (2019年5月11日現在)